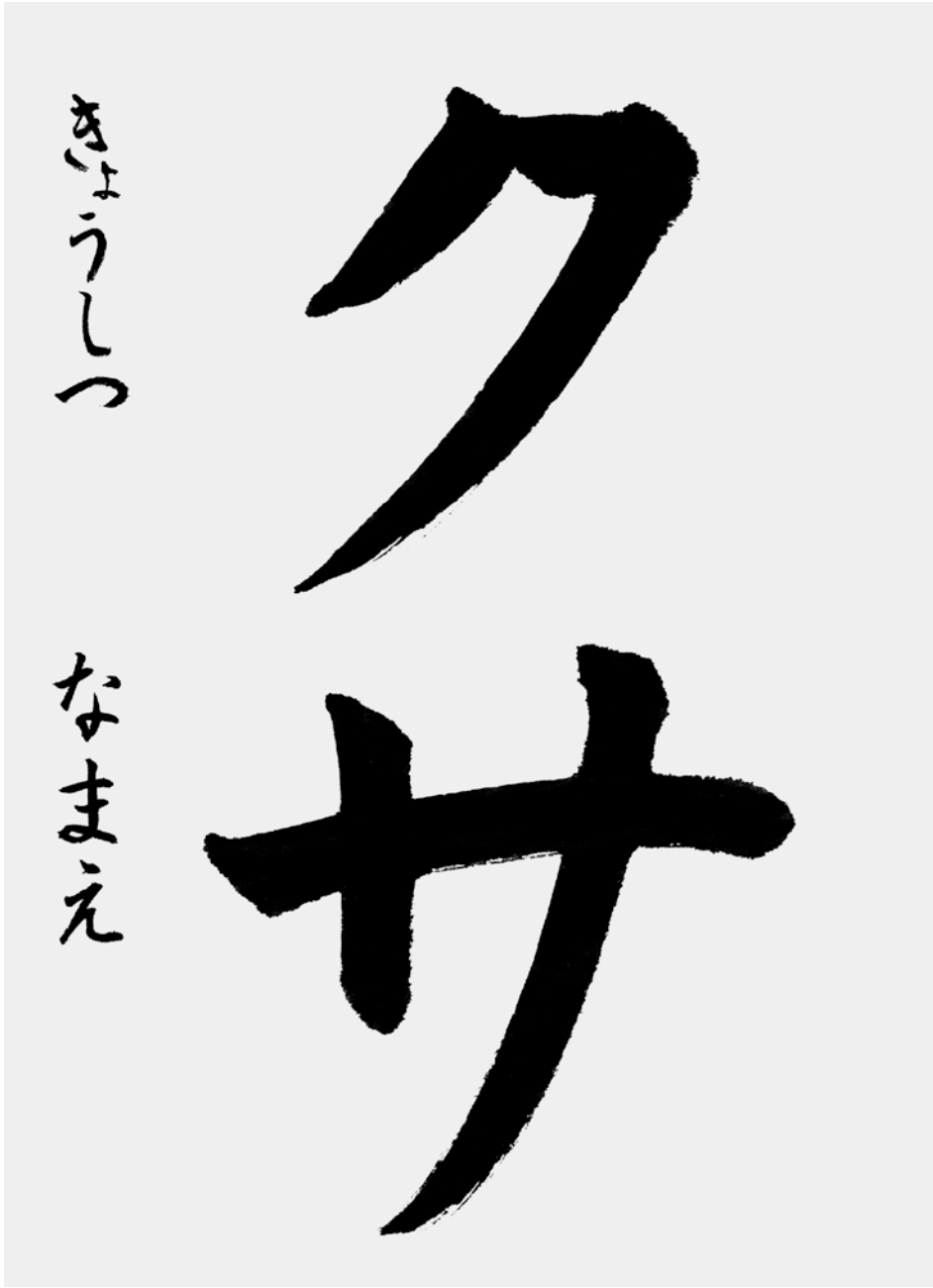


〔半紙幼年・1年生〕

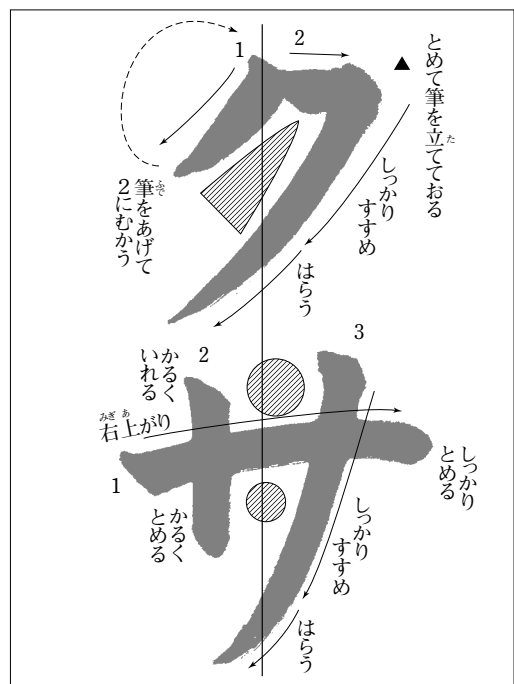
クサ



石橋鯉城先生書

☆名前はなるべく漢字で書きましょう。  
☆名前もさくひんのいちぶです。ていねいに書きましょう。

てほん  
手本のならいかた



▲とめてほうこうをかえる

◎あきき注意目

ここに  
ちゅうい

幼・1年生

ねらい

★きほんの筆使いのれんしゅう。

学習のポイント

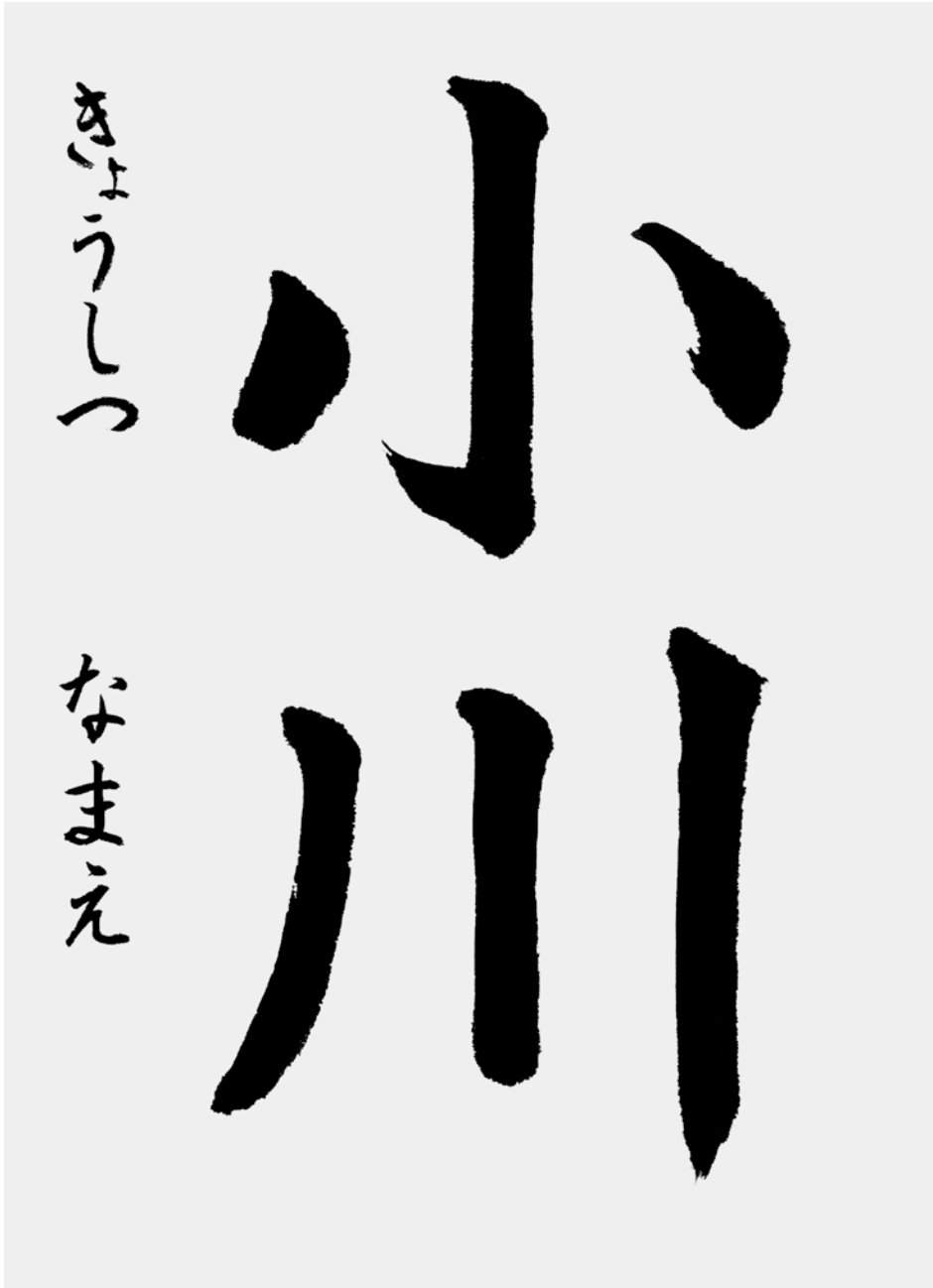
ク：一かくめは中心からみじかくはらうようにして、筆をあげて二かくめへ。二かくめはみじかく右にすすめてとめて筆を立ててお・り、左下にひき、さいごははらう。

サ：一かくめは右上がりに、ちからづよくながくひいてとめる。二かくめはすこしかるくたてにみじかく。三かくめはつよくいれて左下にしっかりすすめ、さいごははらう。

〔半紙2年生〕

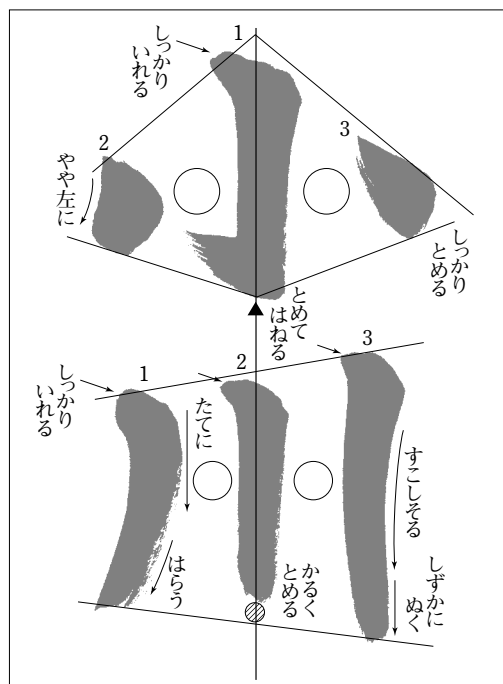
小川

石橋鯉城先生書



☆名前はなるべく漢字で書きましょう。  
☆名前もさくひんのいちぶです。ていねいに書きましょう。

手本のならいかた



▲とめてほうこうをかえる ○広さに注目 ◎あきにご注意

2年生 ここにちゅうい

ならい

★はね、とめ、はらいのれんしゅう。

学習のポイント

小：一画めは、中心にしっかりと入れて、下へひき、とめてからはねる。二画めは、みじかく左にむけ、三画めは右にむけて、しっかりとめる。太く書いて、形をひしがたにおさめよう。

川：一画めは、しっかりと筆を入れて、たてから左にはらう。二画めは、中心にややみじかくして、かるくとめる。三画めは、少し高いところから、長くひいて、しずかにぬく。三本の線の長さに気をつけよう。

〔半紙 3年生〕

東風

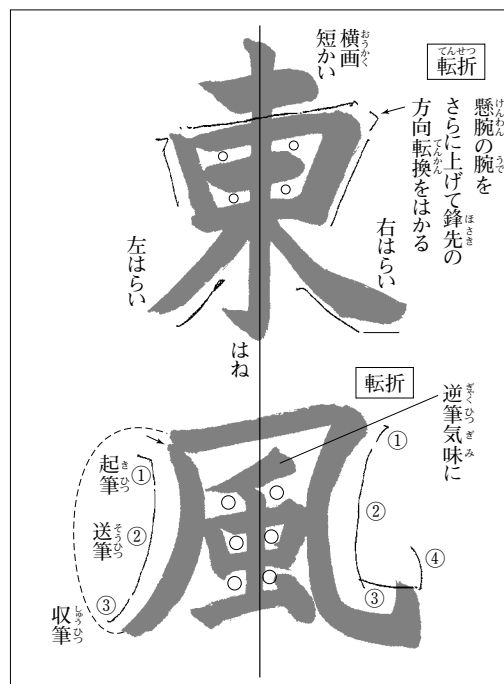
東風

教室  
名前

石橋鯉城先生書

☆名前はなるべく漢字で書きましょう。  
☆名前もさくひんのいちぶです。ていねいに書きましょう。

てほん  
手本のならいかた



○印は分間の白を示す

ここに  
ちゅうい 3年生

ならい

★書道のかまえと姿勢づくり。

学習のポイント

東…文字の中心を意識して、左右のバランスを考えよう。

鋒先の使い方も練習しましょう。

風…「八」（かぜがまえ）に緊張感をもたせる工夫をしてみよう。

「ノ」と「虫」は鋒先を使って細めに書き、分間に注意しよう。

# 〔硬筆幼年〕

ひなまつり しろぎけ

堀津節子先生書

し	ひ
ろ	な
ざ	ま
け	つ
	り

※高学年の用紙を使う場合は右のように必ずマスの線を入れて書いてください。

★用具は鉛筆（またはフェルトペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。

## てほん 手本のならいかた

みじかい ろ ×	ながすぎ な ×
し	ひ
ろ	な
ざ	ま
け	つ
さ × け ×	り

▲とめてほうこうをかえる  
※中心の線は下じきに入れて書きましょう。  
◎あきに注意

☆名前は、なるべく漢字で書きましょう。課題と同じようにていねいに書くようにしましょう。  
☆鉛筆の濃さは、2Bか3Bであることがのぞましい。

# 〔硬筆 1年生〕

木の上からハトがとんだ

堀津節子先生書

と	木
ん	の
だ	上
	か
	ら
	ハ
	ト
	カ
	ビ

※高学年の用紙を使う場合は右のように必ずマスの線を入れて書いてください。

★用具は鉛筆（またはフェルトペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。

## てほん 手本のならいかた


※上をそろえた書式で書いています。  
※伝統的な毛筆表現にならって句読点を省いています。

▲とめてほうこうをかえる  
※中心の線は下じきに入れて書きましょう。

☆名前は、なるべく漢字で書きましょう。課題と同じようにていねいに書くようにしましょう。  
☆鉛筆の濃さは、2Bか3Bであることがのぞましい。

# 〔硬筆 2年生〕

西の空に日がしずんでいく

ん	西
で	の
い	空
く	に
	日
	か
	し
	ず

堀津節子先生書

## てほん 手本のならいかた


※高学年の用紙を使う場合は右のように必ずマスの線を入れて書いてください。

★用具は鉛筆（またはフェルトペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。

※上をそろえた書式で書いています。  
※伝統的な毛筆表現にならって句読点を省いています。

▲とめてほうこうをかえる ○同じ広さ ◎あきに注意

※中心の線は下じきに入れて書きましょう。

☆名前は、なるべく漢字で書きましょう。課題と同じようにていねいに書くようにしましょう。

☆鉛筆の濃さは、2Bか3Bであることがのぞましい。

〔硬筆 3年生〕

文の終わりの書き方を考える

堀津節子先生書

文の終わりの書き方を考える

てほん 手本のならいかた

1 2 3 4 方

1 2 3 4 文

ゆっへりまわる  
ななめに

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 終

タテ線にのせて

すこしあけて

長く

わる

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 書

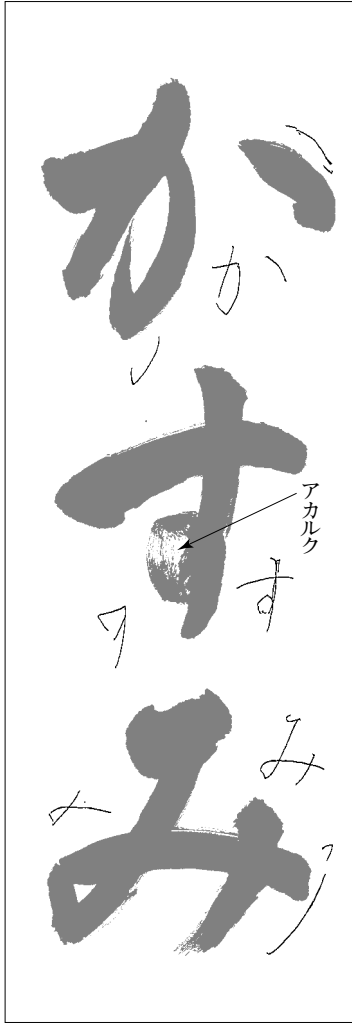
★用具は鉛筆（またはフェルトペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。

※上をそろえた書式で書いています。  
※伝統的な毛筆表現にならって句読点を省いています。

▲とめてほうこうをかえる ○同じ広さ ◎あきさに注意

※中心の線は下じきに入れて書きましょう。


☆名前は、なるべく漢字で書きましょう。課題と同じようにていねいに書くようにしましょう。  
☆鉛筆の濃さは、2Bか3Bであることがのぞましい。



ここに  
ちゅうい 幼・1年生

か…流れよく書き、一・二かくめと三かくめのアキに  
注意する。

す…二かくめのむすびは、はねるように三角を作るよ  
うにして書きましょう。(🔪)

み…の動きと同じように、スキーで急傾斜  
を降りるときのような流れで書きましょう。



石橋鯉城先生書

〔じょうふくようねん条幅幼年・1年生〕

かすみ

※条幅作品では、いきおいを出すため、筆づかい  
を工夫して書きましょう。筆の鋒の弾力(バネ)  
を使って、のびのびと。

※書き終わったら、少しはなれて、字の大きさや  
線の太さがよいか見ましょう。

※名前はしあげです。全体を見て入れましょう。



てほん  
手本のならいかた



〔<sup>じょう</sup>条幅<sup>ふく</sup> 2年生〕  
春<sup>はる</sup>さめ



石橋<sup>いしばし</sup>鯉<sup>り</sup>城<sup>じょう</sup>先生書

ここに  
ちゅうい 2年生

書き方

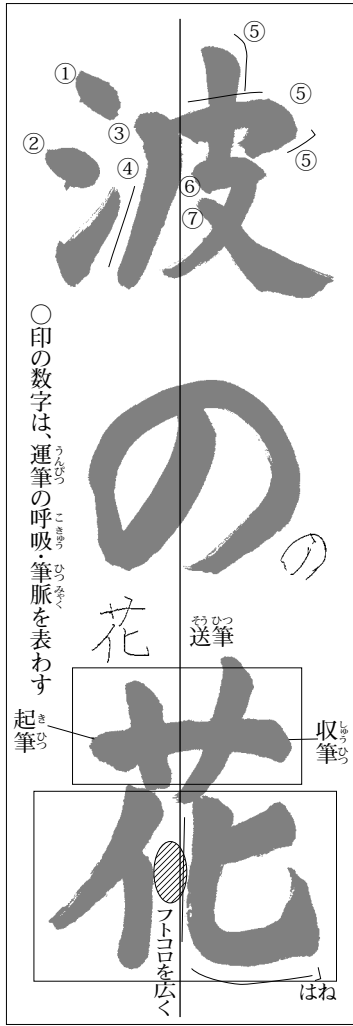
「春」は九画もありますが、それを「さ」「め」の  
ような二画や三画の文字でささえ、バランスをと  
ります。そのため、ひらがなは少し太めになります。

※条幅作品では、いきおいを出すため、筆づかい  
を工夫して書きましょう。筆の鋒の弾力（バネ）  
を使って、のびのびと。

※書き終わったら、少しはなれて、字の大きさや  
線の太さがよいか見ましょう。

※名前はしあげです。全体を見て入れましょう。

てほん  
手本のならいかた



◎あきにご注意

ここに  
ちゅうい 3年生

波…「シ」(さんずい)の三つの点画の間に気をつけましよう。「皮」は、「ノ」が先なので、筆順を覚えておこう。  
の…鋒先の動きに気をつけて、鋒先の転回にも骨力をもたせて書きましよう。  
花…「艹」(くさかんむり)と「化」とのバランスを考えて書きましよう。「化」の「匕」の一面めは横画で書くこともあります。



〔条幅 3年生〕  
波の花

石橋鯉城先生書

※条幅作品では、いきおいを出すため、筆づかいを工夫して書きましよう。筆の鋒の弾力(バネ)を使って、のびのびと。  
※書き終わったら、少しはなれて、字の大きさや線の太さがよいか見ましよう。  
※名前はしあげです。全体を見て入れましよう。